

性能試験の概要

(1) エアフィルタの性能試験

試験方法	中高性能フィルタ(J-ePMx)及びCoarseフィルタ (除電処理試験あり)			
試験規格	JIS B 9908-1~4:2019(*1)			
試験対象	JIS ePM1	JIS ePM2.5	JIS ePM10	JIS Coarse
試験ダクト	構造	横型		
	寸法 mm	□610		
試験可能風量(流速)	m <sup>3</sup> /min (m/s)	28~56(1.25~2.5)		
試験項目 (*5)	粒子状物質捕集率	初期	○(*10)	
		除電後	○	
	初期圧力損失		○(*6)	
	質量法捕集率	初期	△(*11 除外可能)	○
	平均	△(*12 追加可能)	○	
	粉じん保持量		△(*13 除外可能)	○
試験粒子	粒子状物質捕集率	JIS8種		
	粉じん保持量	JIS11種		
	試験風量/流速	定格風量		
	試験に必要なフィルタの数	2個		

試験方法	計数法粒子捕集率 (準HEPA)	0.4μm粒子捕集率	除電前後の粒子捕集率	質量法粒子捕集率	計数法粒子捕集率 + オゾン発生量	HEPA、ULPAフィルタの粒子捕集率
試験規格	JIS B 9908:2011(*9)				JIS B 9908-5:2019(*2)	JIS B 9927:1999(*3)
試験対象	形式1		形式2	形式3	電気集じん器	
	ユニット型(*4)		ろ材	ユニット型(*4)	ユニット型(*4)	ユニット型(*4)
試験ダクト	構造	横型	横型	横型	横型	横型
	寸法 mm	□610	□200	□610	□610	□200
試験可能風量(流速)	m <sup>3</sup> /min (m/s)	28~56 (1.25~2.5)	0.7~1.5 (0.4~0.87)	28~56 (1.25~2.5)	ろ材実風速 (0.4~0.87)	ろ材実風速 (1.25~2.5)
試験項目 (*5)	粒子捕集率	初期	○	○	○	○
		平均	-	-	-	-
	初期圧力損失		○(*6)	○(*6)	○(*6)	○(*6)
	粉じん供給量		-	○	○	-
	オゾン発生量		-	-	-	-
試験粒子	粒子捕集率	PAO、0.3μm	JIS11種	PAO0.4μm	JIS11種	PAO、0.5~1.0μm
	粉じん供給量	-	JIS11種	-	JIS11種	-
	試験風量/流速	定格風量	定格風量	ろ材実風速	定格風量	定格風量のみ
	試験に必要なフィルタの数	2個	2個	200×200mm2枚(*8)	3個	1個

- \*1: JIS B 9908-1~4:2019「換気用エアフィルタ・換気用電気集じん器の性能試験方法」
- \*2: JIS B 9908-5:2019「換気用エアフィルタユニット・換気用電気集じん器の性能試験方法—第5部:換気用電気集じん器の性能試験方法」
- \*3: ろ材はJIS B 9927:1999「クリーンルーム用エアフィルタ—性能試験方法」、ユニット型はJIS B 9908:2011
- \*4: ユニット型は両側バッキン付きとしてください。
- \*5: ○印のある項目が試験可能です。
- \*6: 原則として、JIS B 9908では定格風量の50%、75%、100%、125%における圧力損失を測定します。
- \*7: JIS B 9927では定格風量のみで圧力損失を測定します。
- \*8: IPA浸漬による除電前後の粒子捕集率測定も行う場合は<sup>□</sup>200mmろ材2枚必要、試験費用448,000円(会員、税抜)、672,000円(非会員、税抜)
- \*9: JIS B 9908:2011(廃止)「換気用エアフィルタ・換気用電気集じん器の性能試験方法」
- \*10: JIS CoarseはJ-ePM10性能が50%未満で20%以上の場合に適用
- \*11: JIS B 9908(2019)任意選択(オプション扱いのため除外が可能)
- \*12: JIS B 9908(2019)任意選択(オプション扱いのため追加が可能)
- \*13: JIS B 9908(2019)任意選択(オプション扱いのため除外が可能)

(2) エアフィルタの圧力損失測定のみ

試験規格	JIS B 9908:2011、JIS B 9927:1999(*3)			
試験対象	ユニット型(*4)		ろ材	
試験ダクト	構造	横型		
	寸法 mm	□610	□200	Φ133
試験可能風量(流速)	m <sup>3</sup> /min (m/s)	28~56 (1.25~2.5)	0.7~1.5 (0.4~0.87)	5.3cm/s
試験風量/流速		定格風量50%,75%,100%,125%		
試験に必要なフィルタの数	1個			

(3) 空気清浄機等の風量測定のみ

試験規格	JIS C 9603(*12)
試験対象	送風機内蔵型 空気清浄装置
測定可能風量	約 1~4 m <sup>3</sup> /min
試験チャンパー大きさ	フランジ外形 1348 <sup>φ</sup> ×740 <sup>h</sup> mm
測定可能試験体の大きさ制限	通気断面 約1100cm <sup>2</sup> 以内
試験体取付用合板(依頼者側で用意)	外形 1348 <sup>φ</sup> ×740 <sup>h</sup> ×12 <sup>t</sup> mm (試験体用の窓つき)
合板の窓加工(依頼者側で用意)	試験体が入り出する様なビツパリの窓を開ける

\*12: JIS C 9603「換気扇」附属書1の図2による。合板等の詳細は打ち合わせによる。

(4) 運動機構からの発じん量測定(\*13)

試験規格	JIS B 9926(*14)
試験対象	小型ロボット等
試験ダクト	縦型発じん量試験装置
試験風量	m <sup>3</sup> /min
	1
試験体の大きさ、質量	500 <sup>φ</sup> ×400 <sup>φ</sup> ×600 <sup>h</sup> (mm)以内、30kg以内

\*13: オペレーター1名の立会をお願いします。

\*14: JIS B 9926:1991「クリーンルーム—使用する機器の運動機構からの発じん量測定方法」

(5) ろ材の燃焼性試験

試験規格	JACA No.11A-2003(*15)
試験対象	ろ材
試験に必要な試験体	150×50(mm)の試験片、20個

\*15: JACA No.11A-2003「空気清浄装置用ろ材の燃焼性試験方法」